

シリーズ「グローバル・ジャスティス」 第5回

“War against Terrorism, Conservative Responses, and the Decline of Canada’s Civil Society Participation in International Cooperation”

Dr. Norman Cook

Distinguished Scholar of Graduate School of International
Development and Global Studies, University of Ottawa

The lecture explores how the militarization of Aid caused by the pursuit of the “War On Terrorism” have accompanied the growth of a new approach to international development assistance. The new approach has eroded long standing traditions of both innovation and excellence by Civil Society Organizations. The Canada’s example reveals but one example of new funding arrangements for NGOs working in developing countries. The new arrangements puts thousands of developing country citizens at further risk of impoverishment.

米国の主導するテロとの戦いによって、開発援助のアプローチ法は大きく変化した。いわゆる「開発支援の軍事化」は、途上国のNGOと連携している国際人権NGOなどの活動予算を大幅に縮小し、途上国の貧困問題がより深化する結果を招いた。カナダの内政と国際協力のあり方は、9.11後どのように変わったのか。米国とともにアフガニスタンにまだ軍が駐留するカナダを事例に、保守政治がグローバル市民社会にもたらした問題を考える。



マックギル大学、カナダ国際開発庁で40年間にわたり、研究者、実務家として開発支援・国際協力に従事した。地域は、ラテン・アメリカ、中東、アフリカと幅広い。OECDの開発支援部門カナダ代表、アフリカの平和構築、ディアスポラコミュニティとの連携によるレバノン、パレスチナ、イエメンの市民社会組織の能力強化、開発支援におけるジェンダーの主流化、JICAの平和構築プログラムとの連携事業など手がけ、草分け的な存在。現在、国連パレスチナ問題アドバイザー、World Social Forum国際諮問委員会メンバー。

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科では、連続セミナー「グローバル・ジャスティス」を開催いたします。このセミナーは、現代世界が直面するさまざまな課題における「ジャスティス」の問題を、講師が自らの視点で語っていくものです。したがって、どのような視角で、何を問題としてジャスティスを論じるかは講師にゆだね、主催者は一切の方向性をあらかじめ規定いたしません。ジャスティス(正義)という言葉のもつ多義性や問題性もふくめて、多様な議論の場として提供していくものです。

日時：12月6日(月)

18:30-20:00

会場：博遠館 212番教室

来聴歓迎・予約不要
英語講演(通訳あり)

同志社大学
グローバル・スタディーズ研究科

tel. 075-251-3930

e-mail. ji-gs@mail.doshisha.ac.jp